

悪性胸水に対するユニタルク®による胸膜癒着術の後方視的解析

2014年2月から2014年12月までの間に、悪性胸水に対するユニタルク®による胸膜癒着術を行った患者さんの後方視的解析を行います。

研究の概要・意義・目的：

悪性胸水は肺がんを初めとする悪性腫瘍が胸膜に転移、播種することにより、胸水貯留を起こす病態です。胸痛、呼吸苦などの症状を引き起こし、患者さんのQOLを下げるだけでなく、その後の悪性腫瘍に対する治療を困難にすることも多いです。現在は胸水ドレナージ、胸膜癒着療法が対症療法として一般的です。

ユニタルク®は国内第Ⅱ相試験で効果、安全性が確認され、2013年9月に本邦で承認された薬剤です。現在では胸膜癒着術に広く使用されている。しかし、実際の臨床での有効性、安全性については報告がありません。今回我々は、がん性胸膜炎に対するユニタルク®による胸膜癒着術の有効性、安全性を明らかにすることを目的としています。

方法：

2014年2月から2014年12月までの間に、国立がん研究センター中央病院にて悪性胸水に対してユニタルク®による胸膜癒着術を施行された患者さん46人を対象としております。それぞれの患者さんの臨床情報の検討を行います。対象となった患者さんの診療録から、必要な臨床情報を収集しますが、情報収集の作業に当たる人員は医師をはじめとする医療知識のある研究者です。

個人情報保護に関する配慮：

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。研究患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 笹田真滋

TEL 03-3542-2511